

配信資料に関する技術情報（気象編） 第42号

－配信資料の改善等の計画について－

1. 電文長の上限の変更時期の再延期

（「配信資料に関する技術情報（気象編）第3号（平成8.8.28）」及び「同第10号（平成8.12.16）」関連）

気象業務支援センター（全国版，地方版とも）を通して配信する A/N 報の電文長の上限を平成10年10月に3800バイトから16Kバイトへ変更することとしましたが，利用者の対応状況を踏まえ，変更時期を再度延期します。実施時期は，調整が付き次第お知らせします。

2. 配信を終了する資料について

（「配信資料に関する技術情報（気象編）第30号（平成9.12.22）」関連）

①東京，仙台地方版の旧形式アメダスデータ

平成10年3月11日から新形式(BUFR 報)によるアメダスデータ ISYAii, ISYPii の配信を開始したことに伴い；旧形式アメダスデータ SYAii (ii は，東北が11，関東甲信が16，東海が21，北陸が26) の東京，仙台管内の地方版一般気象回線からの配信を平成10年11月26日に終了します。

②全国版の旧形式 RSM 航空 A

平成10年3月25日から格子間隔を細かくする等の改善を行った新しい RSM 航空 A (VKRA50) の配信を開始したことに伴い，旧来の RSM 航空 A (KKRA50) の全国版一般気象回線からの配信を平成10年11月26日に終了します。

3. 航空気象報における天気略号の変更について

平成10年11月5日から，次の航空気象報において凍雨の天気略号が現行の「PE」から「PL」に改められます。

METAR/SPECI

TREND

TAF

VOLMET

4. 「タイフウイチ」の配信終了時期の延期

平成9年7月から、新形式(CREX形式)での台風解析予報情報電文「KFXCii RJTD YYGGgg」の提供を開始しました。これに伴い、従前の当該電文「タイフウイチ」を平成10年11月末に配信を終了することとし、「配信資料に関する技術情報(気象編)第14号(平成9.2.27)」でお知らせしておりましたが、利用者の対応状況を踏まえ、**配信終了時期を平成11年3月末まで延期**します。

また、技術情報第14号でお知らせしました新形式(CREX形式)の台風解析・予報情報電文について、現在までの改訂を反映させた電文フォーマットの解説を用意します。電文フォーマットで用いる台風の英名(B19209)や台風の存在地域(B19197)等の表は、今後変更される可能性がありますので、変更に対応できるよう電文処理ソフトウェアの設計をお願いします。

なお、台風の英名(B19209)、台風の存在地域(B19197)の表及びCREX電文のサンプル(平成9年(1997年)台風第9号に関する全電文)を磁気媒体に収録したのも用意します。これら解説及びサンプルがご入用の方は(財)気象業務支援センターにご連絡下さい。

5. 降雪量分布予報の実施期間について

(「配信資料に関する技術情報(気象編)第25号(平成9.9.11)」関連)

降雪量分布予報の実施期間は、基本的には12月1日から翌年3月20日までとし、その期間の前後に地方の実状に応じて延長する期間を設けることとしています。今年度の実施期間は以下の予定です。

札幌管区气象台：12月1日から翌年3月31日まで

仙台管区气象台：12月1日から翌年3月20日まで

新潟地方气象台：12月1日から翌年3月31日まで(昨年度は3月20日まで)

なお、今年度から雪量分布予報を全国的(沖縄地方を除く)に開始する予定でしたが、昨年度は十分な事例数が得られず評価ができなかったため、今年度も継続して評価を行うこととしました。そのため、当該予報の全国的な開始は、来年度以降に延期します。

6. 平成11年3月の札幌L/A更新に係る配信資料の変更

(「配信資料に関する技術情報(気象編)第10号(平成8.12.16)」及び「同情報第27号(平成9.9.22)」関連)

一昨年度の東京L/A及び昨年度の仙台L/Aの更新時に、それぞれの地方版一般気象データ回線で提供する数値予報GPVの配信要素の拡充を実施しました。今年度は札幌L/Aが更新されますので、東京、仙台と同様に、**札幌管内の地方版一般気象データ回線での提供する資料について以下の変更を行います。**

なお、全国版の数値予報GPVの配信要素等については変更ありません。

①アメダスデータ

実施日時：平成 11 年 3 月 1 日 00UTC 観測値から

SYA06 (A/N 報) → ISYA06 及び ISYP06 (BUFR 報)

変更内容の詳細については、「配信資料に関する技術情報（気象編）第 27 号（平成 9.9.22）」を参照願います。

②数値予報 G P V

実施日時：平成 11 年 3 月 1 日 00UTC 初期値から

KUR@ii → VUR@ii (RSM 上層)

950hPa を追加し，要素は他の面と同じとする。

ω をすべての層に入れる。

Ps (海面更正気圧) は RSM 地上に入れる。

T-Td (露点差) に替えて Rh (相対湿度) を配信する。

その他は，全て現行と同じ。

KVR@ii → VVR@ii (RSM 地上)

Ps を RSM 上層から移す。

T-Td (露点差) に替えて Rh (相対湿度) を配信する。

その他は，全て現行と同じ。